

## 深刻化する中国の大気汚染

### ◆2015年同様16年も12月に「赤色警報」が発令される

2016年12月16日の夜から、北京市や天津市をはじめ中国の北部地方で大気汚染が深刻な状況を示す「赤色警報」が今シーズンはじめて発令された。河北省の石家荘など一部の地域では、大気汚染のレベルを表す中国基準のAQI（大気汚染指数に関しては表を参照）の測定値の上限である500を超える「爆表」（計測不能の意味でAQIの上限500を超えたことを示す）状態にまで達した。

中国では13年10月に大気汚染に関する警報システムが試行・導入され、赤色警報はAQIにおける「嚴重汚染」レベルが72時間以上続く見通しの場合に発令される大気汚染の最も深刻な状況を示す。この嚴重汚染の水準では、心臓病・肺疾患患者は症状が顕著に悪化し、健康な人にも症状が出るとされており、すべての人が屋外での活動を中止すべきだとされている。赤色警報がはじめて発令されたのは15年12月7日の北京市で、この時は天津市、河北省、山西省の3億人の生活や経済活動に影響をおよぼしたといわれている。

赤色警報が発令されると幼稚園、小・中学校、高校は休校となるだけでなく、汚染源と考えられる工場に対しては操業短縮や停止が指示され、自動車はナンバーの末尾が偶数か奇数かの別による通行規制などが実施される。企業でも健康被害が出ないように、従業員に対して在宅勤務に切り替えるなどの各種対応が求められ、社会全般への影響も大きい。

### ◆大気汚染による経済損失は1.4兆ドルに

環境保護団体のグリーンピースによると、今回の警報のピークとなった16年12月18日からの3日間の大気汚染は、北京市だけでなく中国の北部地方の24の都市の住民4億6千万人に影響をおよぼしたとしている。またその汚染レベルはWHO（世界保健機構）がガイドラインとして定めている環境基準（WHO基準は1日平均 $50 \mu\text{g}/\text{m}^3$ ）の6倍を超えるものだった。北京市では700社を超える企業が操業停止に追い込まれ、スモッグによる視界不良のため北京市や天津市の空港では欠航が相次ぐなど、一般市民の生活にも大きな影響をおよぼした。

OECD（経済協力開発機構）の試算によると10年の一年間の大気汚染による中国の経済損失は1.4兆ドル（約150兆円）にのぼるともいわれる。

◆大気汚染は都市型の環境汚染

河川の水質汚染や土壌汚染に比べ、大気汚染は都市部を中心に発生し、影響を受ける市民の数が広範囲に渡る「都市型環境汚染」といえる。政府は汚染源と考えられる企業や発電所などに、燃料を石炭から石油・天然ガスへの切り替えるよう促しているが、コスト面の問題などで遅々として進んでいないのが現状である。

北京市などは17年1月1日から導入される新しい品質基準のガソリンの導入の前倒しなどを実施してきたが、一方で「スモッグ」を「天候による災害」に区分するなど大気汚染に対する危機意識の欠如も指摘されている。

生産調整を続けていた鉄鋼・石炭などの産業が、政府の景気刺激策により増産に転じているのも大気汚染悪化の要因だ。また北京市とその周辺では17年の年明け早々にAQIが500に迫るなど、新しい年をスモッグに覆われた状態で迎えた。

中国のAQI（大気汚染指数）

大気質指数 (AQI:Air Quality Index)	PM2.5濃度 (日平均)	指数の種別	健康影響	健康アドバイス
0~50 (緑)	0~35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	優	汚染なし	・通常の活動が可能
51~100 (黄)	35~75 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	良	特に敏感な人に対し軽い影響	・特に敏感な人は屋外活動を控えるべき
101~150 (橙)	75~115 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	軽度汚染	敏感な人は症状が悪化。健康な人にも刺激症状	・心臓・肺疾患患者、高齢者及び子供（高リスクの人）は、長時間又は激しい屋外活動を控えるべき。
15~200 (赤)	115~150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	中度汚染	敏感な人はさらに症状が悪化。健康な人も心臓や呼吸器への影響の可能性	・高リスクの人は、長時間又は激しい屋外活動を中止すべき。 ・すべての人は、屋外活動を適度に控えるべき。
201~300 (紫)	150~250 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	重度汚染	心臓病・肺疾患患者は症状が顕著に悪化、抵抗力が低下。健康な人にもすべて症状が出る	・高リスクの人は、屋外活動を中止すべき。 ・すべての人は、屋外活動を控えるべき。
301~500 (赤褐色)	250~500 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	嚴重汚染	健康な人も忍耐力が低下し、強烈な症状が見られ、疾病を早期に発症	・高リスクの人は、屋内に留まり、体力消耗を避けるべき。 ・全ての人は屋外活動を中止すべき。

出所：在中国日本国大使館のウェブサイト「中国における大気汚染について」より

16年12月には成都市で大気汚染に対する抗議活動が企画されたり、「大気汚染に対する有効な措置を取る義務を怠った」として弁護士グループが市民の不満を代弁して北京市・天津市や河北省の地方政府を相手取り提訴するなどの動きも出ている。

中国政府は新常态と称される6.5~7.0%の決して低くはない成長率の経済を維持しながら、一方で社会不安を増大させないための環境対策も同時に進めなければならないという難しい対応を迫られているといえそうだ。 【森山博之】